

## 第5期各務原市地域福祉計画・地域福祉活動計画の 基本理念（案）・基本目標（案）

### 1 基本理念（案）

現在策定を進めている市総合計画の基本構想（案）では、将来都市像（めざすまちの姿）として、「もっとみんながつながる 笑顔があふれる元気なまち～しあわせ実感かかみがはら～」を掲げており、『つながり』をキーワードとしています。このキーワードは、ひと・場所とつながり、支援につながり、社会へつながるという福祉における考え方と一致します。

また、基本理念においては、「誇り・やさしさ・活力」の3つの柱において、『やさしさ』には、誰一人取り残されることなく、安心して暮らせるまちづくりを進めることを掲げており、福祉の分野に通ずるものです。

以上のことから、「つながる」ことで、「やさしさ」があふれるまちづくりになる考えのもと、現行計画の基本理念「みんなでつくる「やさしさ」あふれるまち かかみがはら」を踏襲しつつ、次期計画では「みんなが「つながる」、「やさしさ」あふれるまち かかみがはら」を基本理念として定め、地域福祉を推進し、地域共生社会の実現に努めます。

#### 【第4期計画（現行計画）の基本理念】

##### < 基本理念 >

みんなでつくる「やさしさ」あふれるまち  
かかみがはら

#### 【第5期計画の基本理念（案）】

##### < 基本理念 >

みんなが「つながる」、「やさしさ」あふれるまち  
かかみがはら

## 2 基本目標（案）

整理した3つの重点課題を踏まえ、本計画の取り組みの柱となる基本目標を次のとおり定めます。

### 1 認めあい、支えあうまちづくり

地域のつながりやふれあいを活性化するため、地域・世代間の交流や活動の場づくりなどを通して、地域活動の推進を図ります。

また、地域福祉のコミュニティの醸成を図り、地域での助けあい、支えあいを促すとともに、近隣ケアグループ活動などの地域活動において、多様な主体の交流の促進を図り、地域の支援体制を充実します。

### 2 地域福祉の担い手が育つまちづくり

高齢者や障がいのある人、子どもなどとの交流の機会や多様な福祉教育の充実を進め、地域課題を地域の住民が『我がごと』として捉え、解決を試みることができるよう意識の醸成を図ります。

また、地域福祉活動を継続するため、担い手となる人材の確保、リーダーの育成に努めるとともに、多様な市民の参画を促進します。

### 3 誰もが安心して暮らし続けられるまちづくり

多様化・複雑化する生活課題に対応するため、各種福祉サービスの質の向上を図り、わかりやすい情報提供に努めるとともに、身近なところで気軽に相談できる体制や相談窓口間の連携を促進し、適切な支援につなげます。

また、生活に困っている人への支援や、制度のはざまにある人への支援を促進するとともに、地域の防災・防犯体制の強化を図り、安全・安心な地域づくりを推進します。

### 3 施策体系（イメージ）

| 基本理念                                      | 基本目標                                   | 基本施策 | 施策の方向性 |
|---|--|------|--------|
| <p>みんなが「つながる」、「やさしさ」あふれるまち<br/>かかみがはら</p> | <p>1<br/>認めあい、支えあう<br/>まちづくり</p>       |      |        |
|   |  |      |        |
|   |  |      |        |
|   | <p>2<br/>地域福祉の担い手が育つ<br/>まちづくり</p>     |      |        |
|   |  |      |        |
|   |  |      |        |
|   | <p>3<br/>誰もが安心して暮らし<br/>続けられるまちづくり</p> |      |        |
|   |  |      |        |
|   |  |      |        |